

# 愛媛県内の状況

【R3.7.5 9時現在】

## <封じ込め・終了事例>

事 例	公表日	検査数	陰 性	陽 性	L452R 陽 性	関係者 調査	PCR 検査	健康 観察
対処事例①:819事例 ※193、252、262、335、 336、341、358、373、 501、529、595、 654、660、667、 675、691、826:欠番		22,805	20,054	2,751		●	●	●

## <囲い込み事例>

対処事例②:3事例		12	9	3		●	●	○
831事例目 (松山市保健所)	6/23	(1) 26	(1) 25	1		●	●	○

## <調査中事例>

対処事例③:0事例						○	○	○
上記 以外	PCR検査	(6) 39,755	(6) 39,755			—	—	—
	抗原検査	34,573	34,573					
合 計		(7) 97,171	(7) 94,416	(0) 2,755	衛生環境研究所等の検査		0 件	
				かかりつけ医等の検査		0 件		
診療・検査医療機関での検査数 (金曜日に1週間の合計を計上)		前週 1日平均	220件					

【凡例】 ●：接触者特定済、検査完了、健康観察終了  
○：接触者特定中、検査中、健康観察中

※上記の（ ）内の検査数は、対応中の事例に関して昨日実施した検査並びに衛生環境研究所及び地域外来・検査センターで実施した検査の件数です。

	L452R変異株PCR検査結果 <sup>※1</sup> (R3.6.8以降実施分)				ゲノム解析結果 <sup>※2</sup> (R3.3.1以降実施分)			【参考】 L452R陽性事例数 (陽性者数計)
	検査数	L452R 陰 性	L452R 陽 性	判定不能 <sup>※3</sup>	アルファ株 (N501Y変異)	デルタ株 (L452R変異)	その他	
変異株検査	21	20	0	1	119	0	0	0事例 (事例合計0人)

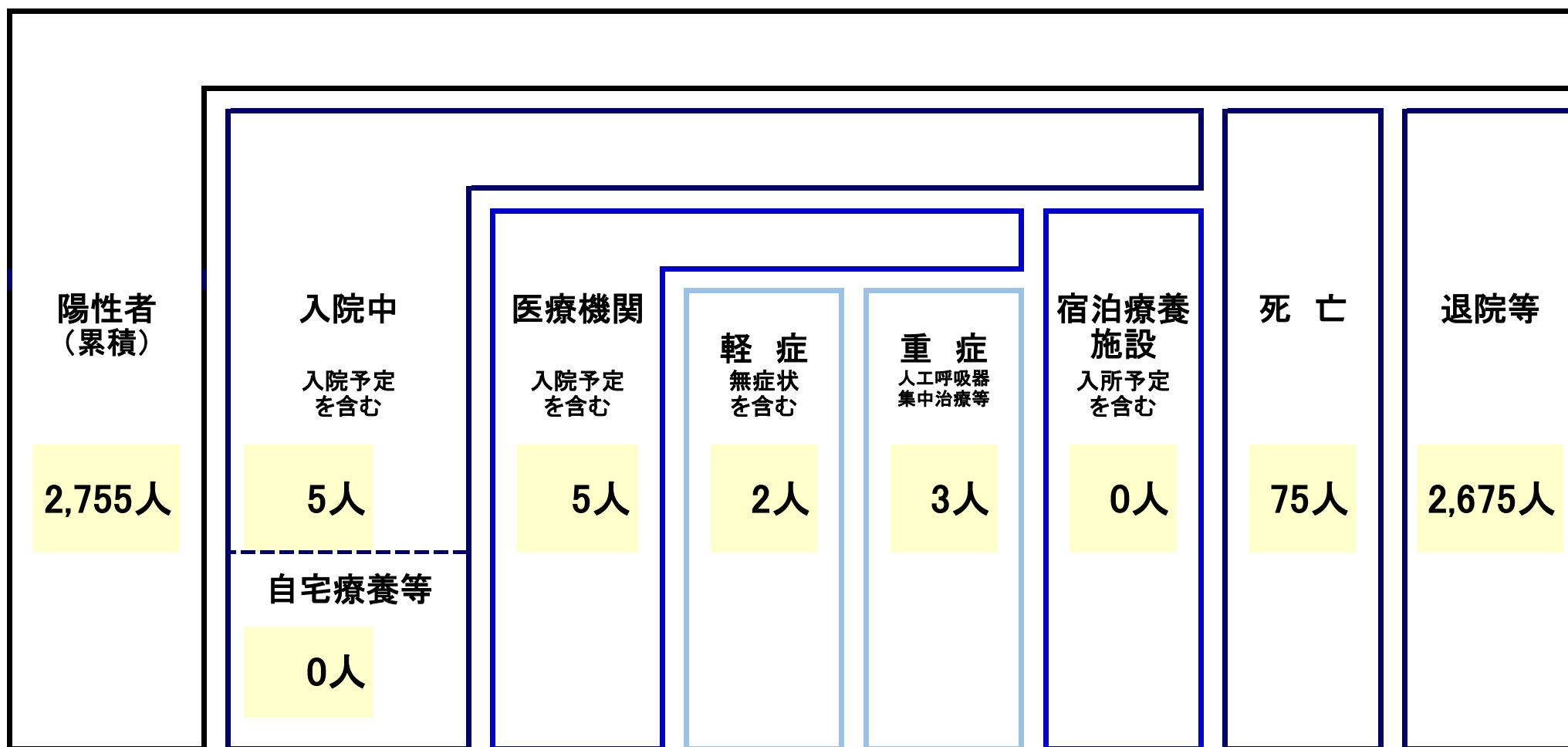
※1 L452R変異株PCR検査は、新型コロナウイルスの陽性が確認された方の中から抽出して実施しています。

※2 ゲノム解析結果の「アルファ株」は英国で最初に検出された変異株（B.1.1.7系統）、「デルタ株」はインドで最初に検出された変異株（B.1.617系統）として確定された件数を示しています。

※3 「判定不能」は、ウイルス量が少ない等の理由により、変異株であるかどうか判定ができなかった件数を示しています。

# 県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況について

令和3年7月5日 9時現在



# 検 査 実 績（管轄保健所別）

【R3.5.31現在】

保健所	市 町	管内人口 (R元.10.1)	検査件数	陰 性	陽 性	陽性率
四国中央	四国中央市	83,630	2,956	2,853	103	3.5%
西 条	新居浜市、西条市	221,412	7,789	7,453	336	4.3%
今 治	今治市、上島町	158,547	8,486	8,238	248	2.9%
中 予	伊予市、東温市、久万高原町、 松前町、砥部町	127,763	5,870	5,674	196	3.3%
八幡浜	八幡浜市、大洲市、西予市、 内子町、伊方町	133,353	6,605	6,499	106	1.6%
宇和島	宇和島市、松野町、鬼北町、 愛南町	104,966	5,657	5,530	127	2.2%
松山市	松山市	509,139	34,107	32,505	1,602	4.7%
計		1,338,810	71,470	68,752	2,718	3.8%

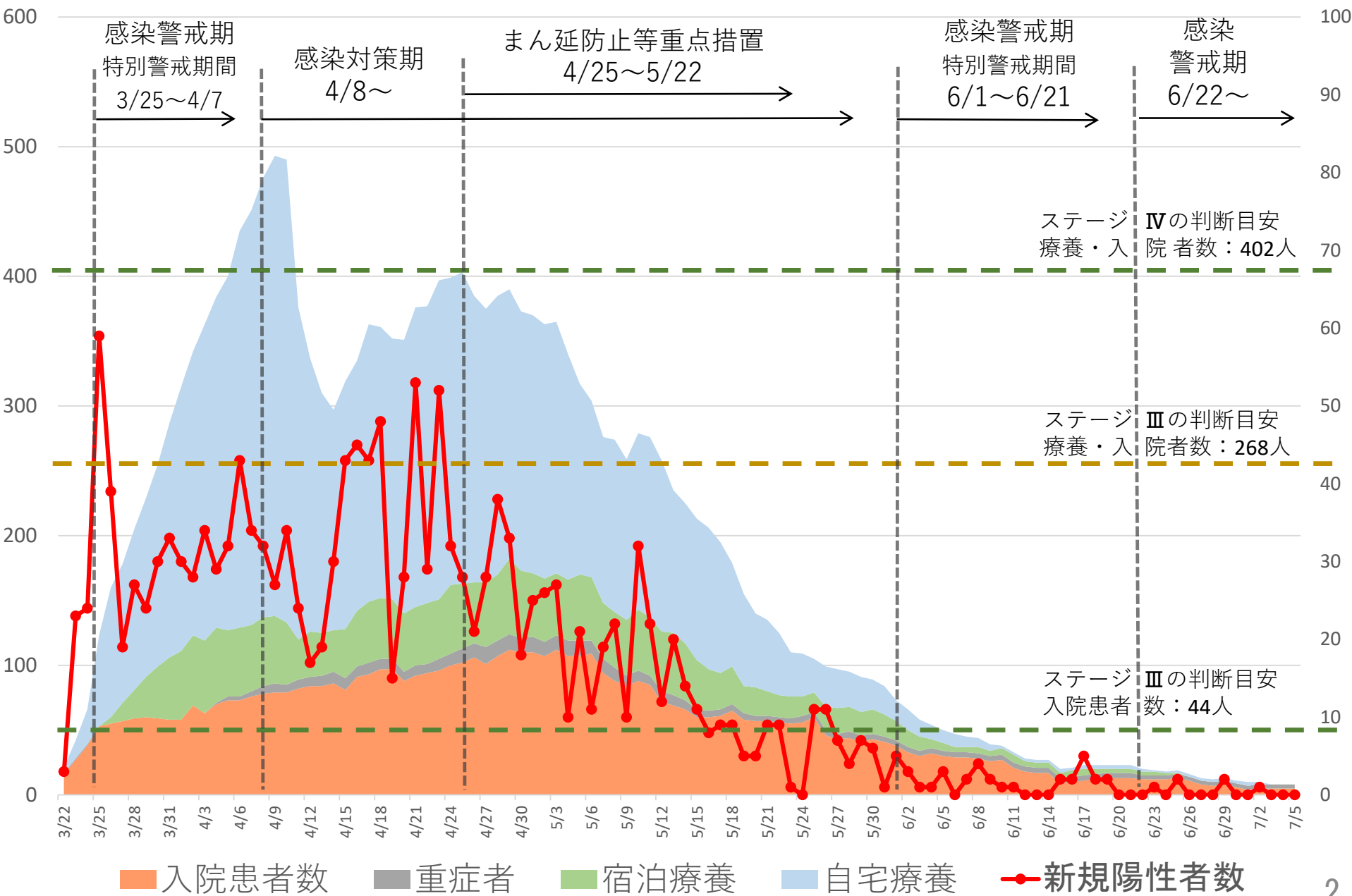
一斉検査	実施時期	検査件数	陰 性	陽 性	陽性率
繁華街臨時PCR検査センター	3/30～4/9	1,151	1,139	12	1.0%
繁華街モニタリングキット配布ステーション	5/24～28	512	510	2	0.4%
高齢者施設一斉検査	4/15～	16,074	16,062	12	0.1%

※先月の月末時点の検査実績(管轄保健所別)については、毎月下旬頃に更新する予定です。

# 第4波の振り返りと今後の対応

- 3/22 松山市繁華街巨大クラスター確認
- 3/25 一日当たり過去最多の59名の陽性確認  
「感染警戒期～特別警戒期間～」へ切り替え
- 4/1 営業時間の短縮要請（松山市繁華街の飲食店）
- 4/8 警戒レベルを最も高い「感染対策期」に引き上げ
- 4/9 療養・入院患者数が486名（最多）
- 4/25 国の「まん延防止等重点措置」の適用
- 4/26 営業時間の短縮要請（県内全域に拡大）
- 4/27 重症者が13名（最多）
- 4/29 入院患者数が112名（最多）
- 5/22 「まん延防止等重点措置」終了
- 5/31 「感染対策期」終了
- 6/1 「感染警戒期～特別警戒期間～」へ切り替え
- 6/22 「感染警戒期」へ切り替え

# 第4波の新規陽性者・入院患者数等の推移



## 第4波の特徴（第3波までとの比較）

区分	第3波まで （従来株中心）	第4波 （変異株中心）
期間	383日間 （令和2年3月2日～）	108日間 （令和3年3月20日～）
陽性者数（事例数）	1,077名（328事例）	1,678名（487事例）
うちクラスター関係	465名（30事例）	656名（25事例）
最大陽性者数/日	最大38名/日	最大59名/日
検査数	36,331件	60,840件
陽性率	3.0%	2.8%
感染経路不明率	18.4%	24.4%

## 第4波の特徴（第3波までとの比較）

区分	第3波まで （従来株中心）	第4波 （変異株中心）
療養・入院者数	最大252名/日	最大486名/日
医療機関入院者数	最大73名/日	最大112名/日
宿泊療養施設入所者数	最大54名/日	最大58名/日
自宅療養者数	最大142名/日	最大357名/日
死亡者数	24名	51名
重症者数	26名（最大6名/日）	36名（最大13名/日）

## 第4波のクラスターの発生状況（第3波との比較）

### 第3波

#### 計 27 事例

- ・ 飲食店 6
- ・ 会食関係 8
- ・ 医療機関 2
- ・ 高齢者施設 5

- ・ 学 校 2
- ・ 職 場 内 3

（公務員 1、生活関連サービス業 1、  
その他サービス業 1）

- ・ 仕事関係 1  
（製造業）

### 第4波

#### 計 25 事例

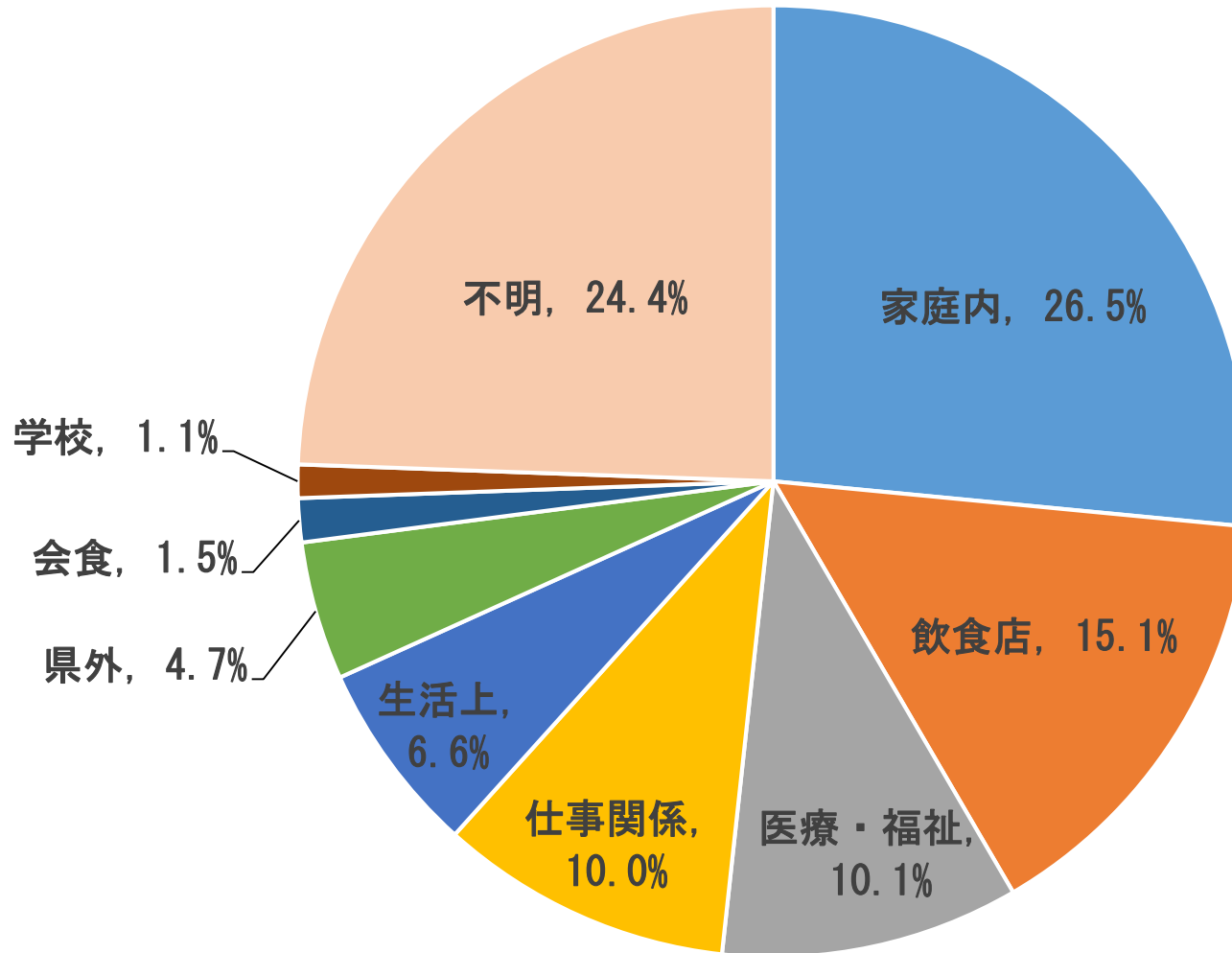
- ・ 繁 華 街 1
- ・ 飲食店 4
- ・ 会食関係 4
- ・ 医療機関 2
- ・ 高齢者施設 4
- ・ 福祉施設 1
- ・ 学 校 2
- ・ 職 場 内 6

（卸売・小売業 4、飲食サービス業 1、  
その他サービス業 1）

- ・ 仕事関係 1  
（電気・ガス・水道業）



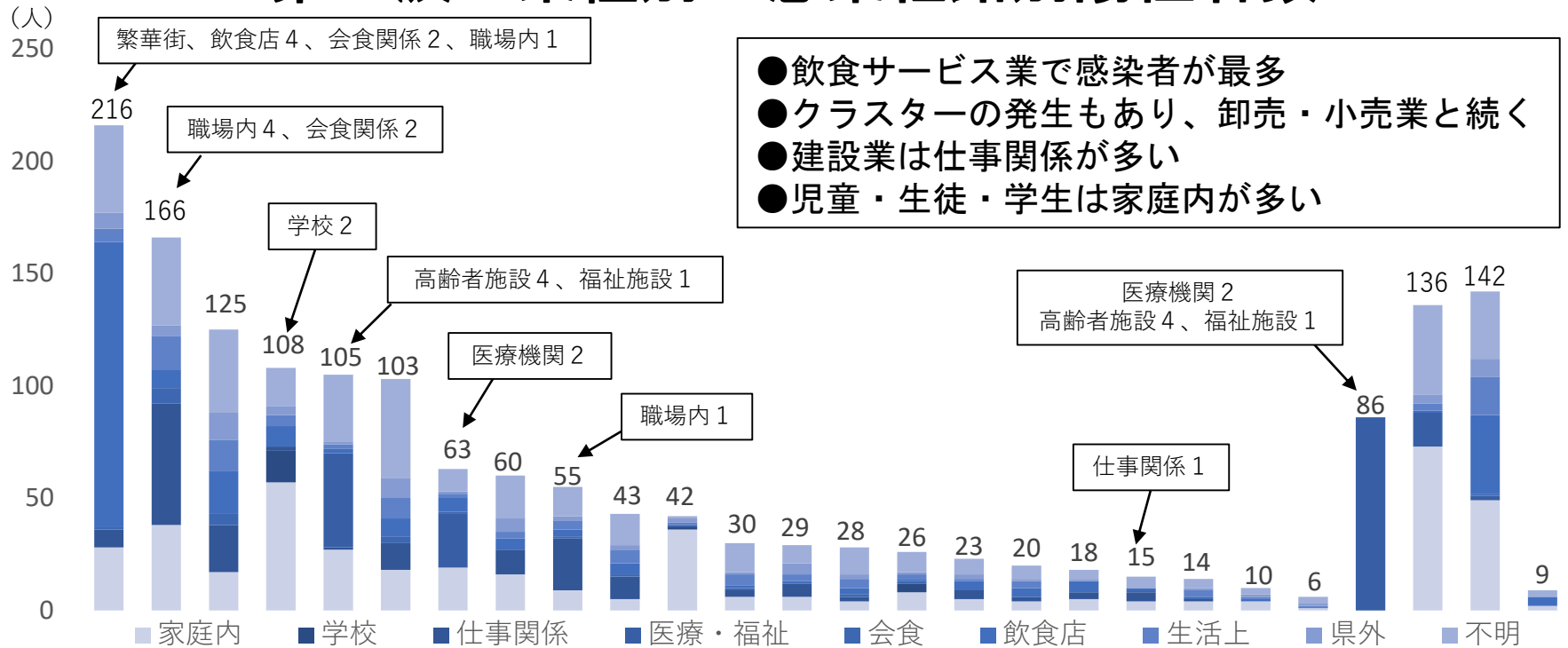
# 第4波の感染経路別陽性者数



	家庭内	飲食店	医療・福祉	仕事関係	生活上	県外	会食	学校	不明
人数	445	253	170	167	110	79	25	19	410
割合	26.5%	15.1%	10.1%	10.0%	6.6%	4.7%	1.5%	1.1%	24.4%

※ 感染経路は、公表後判明したものを含めて再整理したもの

# 第4波の業種別・感染経路別陽性者数



業種 感染経路	飲食サービス業	卸売・小売業	建設業	児童・生徒・学生	福祉業	製造業	医療業	運輸郵便業	その他サービス業 (コールセンター・警備業等)	生活関連サービス業 (美容業等)	未就学児	不動産・物品賃貸業	情報通信業	金融・保険業	教職員等	専門技術サービス業	娯楽業	農林漁業	電気・ガス・水道業	公務員	宿泊業	複合サービス業	無職 (入院者・入所者)	その他無職 (60歳以上)	その他無職 (60歳未満)	無回答・情報なし	計
家庭内	28	38	17	57	27	18	19	16	9	5	36	6	6	4	8	5	4	5	4	4	4	1		73	49	2	445
学校				14							1				4												19
仕事関係	8	54	21	2	1	12		11	23	10		3	6	2		4	2	3	4	1							167
医療・福祉					42		24				1											86	15	2			170
会食	1	7	5			3	1		1	1		1		1	1				1	1					1		25
飲食店	127	8	19	9	2	8	6	5	3	5		1	1	3	1	4	4	5	1		1			1	35	4	253
生活上	6	15	14	5	2	9	2	3	4	6	1	5	3	4	2	1	3			3	1	1		3	17		110
県外	7	5	12	4	1	9	1	6	2	2	2	1	5	2	1	2	1	1		1	1	1		4	8		79
不明	39	39	37	17	30	44	10	19	13	14	1	13	8	12	9	7	6	4	5	4	3	3		40	30	3	410

※ 感染経路は、公表後判明したものを含めて再整理したもの

# 業種ごとの主な感染経路（上位3経路）

業 種	感染経路(割合) ※不明を除く			
飲食サービス業	飲食店 (71.8%)	家庭内 (15.8%)	仕事関係 (4.5%)	
卸売・小売業	仕事関係 (42.5%)	家庭内 (29.9%)	生活上 (11.8%)	
その他サービス業 (コールセンター・警備業等)	仕事関係 (54.8%)	家庭内 (21.4%)	生活上 (9.5%)	
生活関連サービス業 (美容業等)	仕事関係 (34.5%)	生活上 (20.7%)	家庭内 (17.2%)	
			飲食店 (17.2%)	
建設業	仕事関係 (23.9%)	飲食店 (21.6%)	家庭内 (19.3%)	
福祉業	医療・福祉 (56.0%)	家庭内 (36.0%)	飲食店 (2.7%)	
			生活上 (2.7%)	
医療業	医療・福祉 (45.3%)	家庭内 (35.8%)	飲食店 (11.3%)	
児童・生徒・学生	家庭内 (62.6%)	学校 (15.4%)	飲食店 (9.9%)	
製造業	家庭内 (30.5%)	仕事関係 (20.3%)	生活上 (15.3%)	
			県外 (15.3%)	
運輸・郵便業	家庭内 (39.0%)	仕事関係 (26.8%)	県外 (14.6%)	
無職(入院者・入所者)	医療・福祉 (100.0%)			
その他無職(60歳以上)	家庭内 (76.0%)	医療・福祉 (15.6%)	県外 (4.2%)	
その他無職(60歳未満)	家庭内 (43.8%)	飲食店 (31.3%)	生活上 (15.2%)	

## 第4波で直面した事態

- ◆ 松山市繁華街において、感染力の強い変異株(アルファ株)による感染が水面下で拡大し、203名もの陽性者が確認される未曾有のクラスターに
- ◆ 繁華街クラスターを端緒に県下全域に感染が拡大。  
県内の感染が急速に変異株に置き換わり、2か月余りで1,600名超の陽性確認（9割以上が変異株）
- ◆ 陽性者の急増で、入院患者数がピーク時には112名まで増加。活用可能な病床の8割を占めるまで病床がひっ迫
- ◆ 連日、30～50名もの陽性者が確認され、保健所の業務量が急激に増大

# ①医療提供体制

## 課 題

陽性者急増や入院の長期化に対応できる医療提供体制の拡充や宿泊療養施設の確保

## 対 応

### ①実際に運用できる即応病床の確保（継続）

- 即時活用可能病床を「1 2 5 床（重症1 2）」から「2 1 8 床（重症1 9）」に拡充  
※新規を含め東・中・南予のバランスに一層配慮して確保  
※第5波に備えて、2 1 8 床の運用を当面継続

### ②陽性者急増時に備えた更なる病床の確保（継続）

- 陽性者急増時は最大確保病床「2 5 3 床（重症2 6）」で対応

### ③精神科における応援派遣体制の構築（継続）

- 「精神科支え合いネット」を構築し、必要に応じて看護師を派遣するなど体制を強化

### ④宿泊療養施設の確保（継続）【追加検討中】

- 宿泊療養施設を追加し、3 施設を確保。東予地域で追加を検討中

### ⑤後方支援病院の活用（継続）

- 後方支援医療機関を1 9 病院から5 4 病院に拡充（全医療圏域で確保）

### ⑥外来受診体制の整備（継続）【追加検討中】

- 自宅療養者が外来受診可能な医療機関を各医療圏域で確保。更なる追加も検討
- 電話診療等を実施する協力医療機関の更なる拡充を図る

# 第4波（3/20～）の検査状況

総検査数：59,025件（陽性者数：1,677名（陽性率2.8%））

➤ 【有症状者】検査数29,031件（陽性者数：525名（陽性率1.8%））

⇒引き続き、医療機関と連携して迅速な検査を実施

➤ 【無症状者】検査数18,012件（陽性者数：26名（陽性率0.1%））

⇒感染の兆候等を踏まえ、ターゲットや目的を明確に設定して検査を実施

区 分	検査数	陽性	陰性	陽性率
新規（症状のある方が中心） 診療・検査医療機関等	29,031	525	28,506	1.8%
既存（保健所の疫学調査に基づく検査）	11,982	1,126	10,856	9.4%
濃厚接触者	4,686	608	4,078	13.0%
その他接触者	7,296	518	6,778	7.1%
一斉検査（無症状の方を対象）	18,012	26	17,986	0.1%
松山市繁華街 臨時PCR検査センター	1,151	12	1,139	1.0%
松山市繁華街 モニタリングキット配布ステーション 1回目	512	2	510	0.4%
松山市繁華街 モニタリングキット配布ステーション 2回目	259	0	259	0.0%
高齢者施設スクリーニング検査 （松山市・今治市・宇和島市・新居浜市・西条市）	16,090	12	16,078	0.1%
合 計	59,025	1,677	57,348	2.8%

※3月20日～6月30日公表分を集計。

## ②検査体制

課 題

対 応

- 新たな変異株（デルタ株等）への早期対応
- 松山市繁華街や高齢者施設等の感染の早期探知

### ①PCR検査体制等の構築（継続）

- 県衛生環境研究所や地域検査センターに加え、600を超える診療・検査医療機関の協力のもと、有症状者等の検査を的確に実施

### ②衛生環境研究所で変異株検査を実施（継続）【追加準備中】

- デルタ株（L452R）の検査体制を確立（6/8～実施）
- ゲノム解析の体制整備に向け準備中

### ③松山市繁華街モニタリング検査の実施（定期的に継続）

- 接待を伴う飲食店や深夜営業のバーの従業員にモニタリング検査を実施

● 臨時PCR検査センターの設置（3/30～4/9）

・ 1,151件中12件陽性（陽性率1.0%）

● モニタリングキット配布ステーションの設置

・ 1回目（5/25～28）512件中2件陽性（陽性率 0.4%）

・ 2回目（6/14～18）259件すべて陰性（陽性率 0%）

### ④高齢者施設一斉検査の実施（継続）

- クラスターが発生するなど、感染拡大が懸念される市町内の高齢者施設で一斉検査を実施（5/17～6/1） 16,090件中12件陽性（陽性率 0.1%）

### ⑤高齢者施設職員の自主検査制度の運用改善（継続）

### ⑥抗原簡易検査キット（国配布）の活用【今後実施予定】

- 高齢者施設等に加えて保育所等にも配布し、早期探知につなげる



# ③保健所体制

## 課 題

- 陽性者急増時の迅速かつ的確な疫学調査の実施
- 濃厚接触者や自宅療養者急増時の健康観察等の着実な実施
- 医療機関や宿泊療養施設への迅速な搬送調整の実施

## 対 応

### ①保健師等の円滑な応援派遣の実施（継続）

- 16の市町・団体による保健師の応援派遣（延べ453人・日）
- OB保健師の雇用（延べ75人・日）※R2年度20名⇒R3年度28名に増加
- 県庁及び関係機関による保健師等の応援派遣（延べ220人・日）
- 市町保健師やOB保健師等のより円滑な派遣に向けた体制整備や習熟度向上に向けた研修等の実施

### ②保健所の業務分担の見直しや省力化等（継続）【追加検討中】

- 保健所内、地方局・支局内における応援体制の拡充
- 自宅療養者への配食サービスの実施
- 聞き取り内容の統一化や事務処理の標準化
- ICTの活用を検討

### ③陽性者の搬送調整の一元化と他機関連携（継続）

- 患者搬送コーディネータを通じた県（本庁）による一元的な搬送調整の実施
- 保健所と消防との連携による迅速な救急搬送の実施



# ④院内・施設内クラスター対策

## 課題

施設内等の感染拡大防止と事態の早期収束

## 対応

### ①「えひめクラスター対策班」の派遣（継続）

- クラスター対策班を派遣し、ゾーニング等の感染管理指導を実施

※派遣実績：10施設へ延べ25人

### ②「Eーナースネット」による応援体制構築（医療機関間の協力体制）（継続）

- 助け合いネットワークの構築により、看護師を医療機関等へ応援派遣

※派遣実績：1施設へ4施設から延べ6人

### ③「EーWELネット」による応援体制構築（福祉施設間の協力体制）（継続）

- 施設相互の応援体制により、介護職員を応援派遣

※派遣実績：6施設へ延べ13法人から25人

### ④院内療養・施設内療養への財政支援等（継続）

- 陽性患者発生時の国や県の支援メニューをパッケージ化し、受入機関等を支援

※受入協力金、応援手当金、感染防止対策用資材の供給、研修の実施（ノウハウの共有）等

## ⑤ 繁華街対策

### 課 題

感染防止と経済活動の両立に向けた飲食店の感染防止対策の徹底

### 対 応

#### ① 定期的な繁華街の見回りを実施（継続）

- 各市町で飲食店を定期的に見回り、感染防止対策の呼びかけや、飲食店認証制度の周知を実施

#### ② 松山市繁華街におけるモニタリング検査の実施（継続）

#### ③ 時短営業要請に応じない店舗への対応

- 2店舗に「営業時間変更」の命令を行い、命令に応じない1店舗に過料手続きを実施

#### ④ 愛顔の安心飲食店認証制度の創設（継続）

- 安心して飲食店を利用してもらうため、県の定める基準を遵守する店舗を認証

#### ⑤ 警察等と連携した店舗への声掛け等の実施（継続）

# ⑥県民への情報提供等

## 課 題

県内の感染状況等に係る県民へのより効果的な情報提供と注意喚起

## 対 応

### ①定期的な情報提供の実施（継続）

- 地図形式での陽性確認の発生状況や人口10万人当たり陽性者数（保健所別）など、統計データを活用した県内の感染状況等を発信
- 属性公表は個人が特定されないように配慮したうえで統計的に整理して公表

### ②迅速かつ適切な注意喚起（継続）

- 感染拡大の兆候やシグナルを早期に探知し、会見で具体的に分かりやすく言及

### ③公表方法の見直し【今後実施】

- より効果的な注意喚起に繋げるため、職業の「学校関係」を見直しする  
    《新たな区分》「未就学児」「児童・生徒」「学生」「教職員」
- 会社員・会社役員の業種内訳は、一定期間経過後に統計的に整理し、公表を検討
- 属性等の公表タイミングは、個人の特定に繋がらないよう一層考慮  
    ※属性公表は陽性者が5～10名程度累積した段階で更新

# 感染警戒期 4つのポイント

## ① 感染回避の継続徹底

(感染防止の基本)

## ② 体調異変時は休んで受診

(職場・学校への感染拡大阻止)

## ③ まん延防止等重点措置地域等との往来自粛

(変異株持ち込み対策)

## ④ 当面はルールを守った会食実施

(飲食店・会食クラスターの阻止)